

2019年8月期第2四半期 決算説明会資料

2019年4月12日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文

セグメント

装置関連事業

■ 太陽電池製造装置



■ 自動化・省力化装置



■ 特殊真空包装機



様々な業界に対して各種装置を提供

環境関連事業

■ 太陽光発電所の検査サービス



■ 太陽光パネル検査機器



■ パネルのリユース・リサイクル



■ 太陽光パネル解体装置



主に太陽光パネルに関連する事業を展開

連結損益計算書

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間（上期）			通期		
	期初予想	実績	差異	期初予想	修正予想	差異
売上高	1,839	2,039	200	7,002	6,762	△240
売上総利益	494	710	216	1,549	1,618	69
（売上総利益率）	26.9%	34.8%	+7.9%	22.1%	23.9%	+1.8%
販売管理費	511	469	△42	1,015	997	△18
営業利益	△17	240	257	534	621	87
営業外収益	0	6	6	1	7	6
営業外費用	29	7	△22	44	35	△9
経常利益	△46	240	286	491	592	101
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	△46	240	286	491	592	101
親会社株主に帰属する 当期純利益	△51	228	279	428	542	114

(注) 期初予想は2018年10月9日発表、修正予想は2019年4月10日発表の金額です。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2019年8月期 第2四半期及び通期の業績予想修正

① 売上高及び売上総利益

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間（上期）			通期		
	期初予想	実績	差異	期初予想	修正予想	差異
売上高	1,839	2,039	200	7,002	6,762	△240
売上総利益	494	710	216	1,549	1,618	69
（売上総利益率）	26.9%	34.8%	+7.9%	22.1%	23.9%	+1.8%

(注) 期初予想は2018年10月9日発表、修正予想は2019年4月10日発表の金額です。

■ 売上高

- 第2四半期は、部品販売が期初予想を上回って増加し、上方修正の主な要因となった。
(下期から前倒しで案件が売上計上されたことによるものではない)
- 通期では、下期において自動化・省力化装置における顧客の大型プロジェクトの進行に時間を要しており売上減となる見込み。

■ 売上総利益

- 第2四半期は、部品販売の増収に伴う増益や、原価低減により上方修正となった。
また、高利益率の部品販売が増加したため売上総利益率も大きく向上した。
- 通期では、売上減に伴う利益減はあるものの、引き続き好調な部品販売がカバーして増益となる見込み。
また、売上総利益率も期初予想を1.8ポイント上回ることになる見込み。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

②販売管理費～親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間（上期）			通期		
	期初予想	実績	差異	期初予想	修正予想	差異
販売管理費	511	469	△42	1,015	997	△18
営業利益	△17	240	257	534	621	87
営業外収益	0	6	6	1	7	6
営業外費用	29	7	△22	44	35	△9
経常利益	△46	240	286	491	592	101
親会社株主に帰属する 当期純利益	△51	228	279	428	542	114

(注) 期初予想は2018年10月9日発表、修正予想は2019年4月10日発表の金額です。

■ 販売管理費

- 第2四半期は、貸倒引当金の実績率の改善に伴う14百万円の戻入と、上期に予定していた一部費用が下期の費用計上となったため減少した。（下期計上となった費用：広告宣伝費9百万円、租税公課9百万円等）
- 通期でも、上述の貸倒引当金の戻入に加えて、NEDO太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクトの補助金による研究開発費の戻入が発生して減少する見込み。

■ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

- 第2四半期及び通期で期初予想よりも増益して上方修正となる。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

4

2019年8月期 通期業績予想
(設備投資費、減価償却費、研究開発費)

(単位：百万円)

	2018年8月期	2019年8月期		備考
	実績	期初予想	修正予想	
設備投資費	23	315	30	新会計システムが2020年8月期に後ろ倒しとなる。 松山工場に設置するパネル解体装置は期初の想定よりも低コストで対応できる見込みとなった。
減価償却費	201	199	199	予定どおり。
研究開発費	91	95	76	パネルリサイクルの研究に対するNEDOからの補助金13百万円を研究開発費に戻し入れたため。 (実際は研究開発費として90百万円を使用する)

(注) 期初予想は2018年10月9日発表、修正予想は2019年4月10日発表の金額です。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

5

2019年8月期 セグメント別通期業績予想

■ 装置関連事業

(単位：百万円)

	2018年8月期		2019年8月期					
	実績		期初予想		修正予想			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	6,165	100.0	6,461	100.0	6,213	100.0	0.8	△3.8
売上総利益	1,436	23.3	1,390	21.5	1,443	23.2	0.5	3.8
販売管理費	459	7.4	417	6.5	381	6.1	△17.0	△8.6
営業利益	977	15.9	973	15.1	1,062	17.1	8.7	9.1

■ 環境関連事業

(単位：百万円)

	2018年8月期		2019年8月期					
	実績		期初予想		修正予想			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	278	100.0	541	100.0	548	100.0	97.1	1.3
売上総利益	112	40.3	158	29.4	174	31.8	55.4	10.1
販売管理費	89	32.0	76	14.1	78	14.2	△12.4	2.6
営業利益	23	8.3	82	15.3	96	17.5	317.4	17.1

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

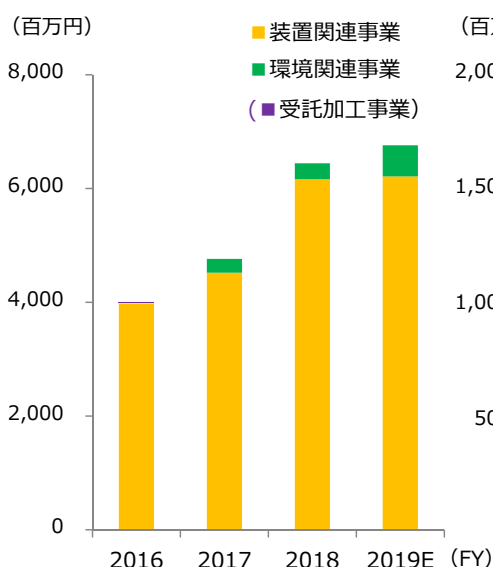
(注) 期初予想は2018年10月9日発表、修正予想は2019年4月10日発表の金額です。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

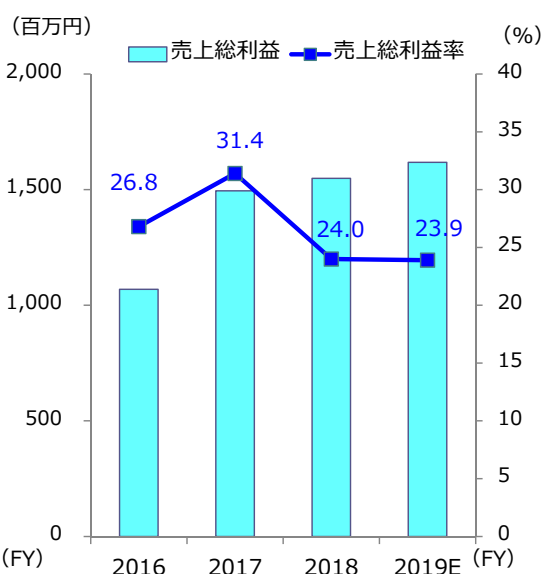
6

2019年8月期 通期業績予想及びこれまでの業績推移

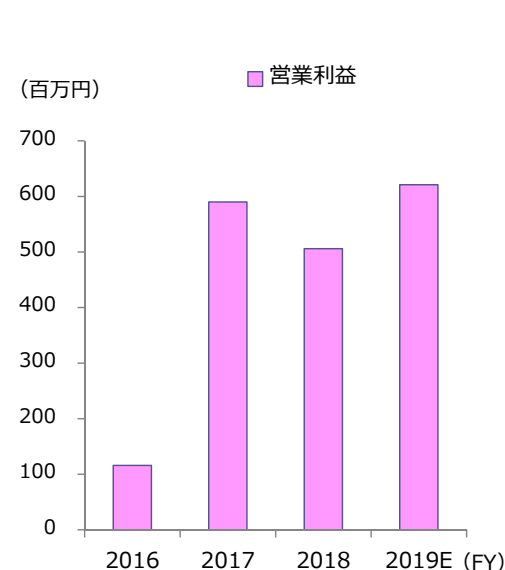
■ 売上高の推移



■ 売上総利益の推移



■ 営業利益の推移



(注) 2019年は4月10日に発表した修正予想の金額です。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

2019年8月期 第2四半期決算概要

装置関連事業

(単位：百万円)

	2018年8月期 第2四半期		2019年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2018.10.9発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	3,229	100.0	1,564	100.0	1,798	100.0	△44.3	15.0
売上総利益	844	26.1	392	25.1	597	33.2	△29.3	52.3
販売管理費	223	6.9	209	13.4	180	10.0	△19.3	△13.9
営業利益	620	19.2	183	11.7	417	23.2	△32.7	127.9

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- 太陽電池製造装置、自動化・省力化装置ともに概ね予定通りの案件を売上。
- 太陽電池製造装置の部品販売が増加。

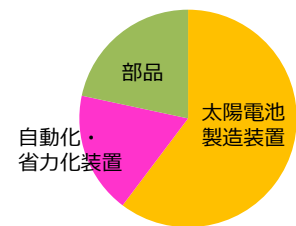
■売上総利益

- 利益率が高い部品販売が増加したことで利益増加に貢献した。
- 原価低減により利益を向上させた。

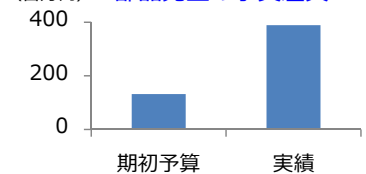
■販売管理費

- 装置輸出に伴い発生する租税公課の一部が下期の費用計上となった。
- 貸倒引当金の実績率が減少して販売管理費が減少した。

売上高の内訳



(百万円) 部品売上の予実差異



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期 第2四半期決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

	2018年8月期 第2四半期		2019年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2018.10.9発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	180	100.0	274	100.0	241	100.0	33.9	△12.0
売上総利益	89	49.4	101	36.9	112	46.5	25.8	10.9
販売管理費	46	25.6	40	14.6	42	17.4	△8.7	5.0
営業利益	42	23.3	60	21.9	69	28.6	41.3	15.0

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- 第1号自動パネル解体ラインを予定どおり売上計上した。
- リユースパネルは海外販売を開始して予想以上の売上高となった。
- 太陽光発電所の建設遅延により、第2四半期に売上計上を予定していたパネル検査サービス（稼働前検査）は下期売上となった。

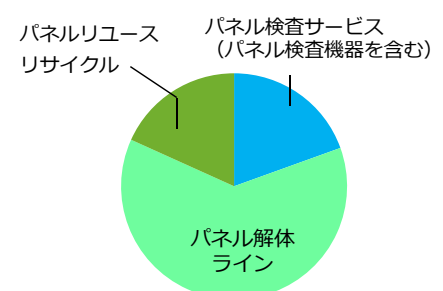
■売上総利益

- パネルリユース・リサイクルが期初予想より増加して利益率を引き上げた。
- 検査サービスは細かい案件を消化することで利益率を維持した。

■販売管理費

- ほぼ期初予算どおり

売上高の内訳



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期 第2四半期決算概要

受注高・受注残高

(単位：百万円)

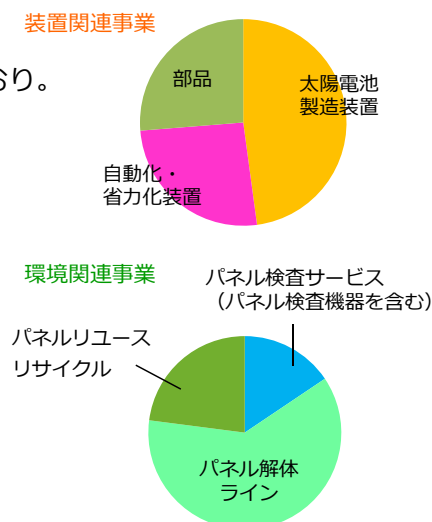
	2018年8月期 第2四半期		2019年8月期 第2四半期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	2,650	3,917	1,326	△50.0	4,522	15.4
環境関連事業	91	49	245	169.2	387	689.8
合計	2,741	3,967	1,571	△42.7	4,910	23.8

(注) 前期比はその増減比です。

■装置関連事業

- 太陽電池製造装置は期初時点で下期偏重を見込んでおり、上期は概ね予定どおり。米国主要顧客向けの追加装置及び現地セットアップ作業を受注。
- 自動化・省力化装置は、エレクトロニクス業界から大型搬送ラインを受注。一方で、大手企業の大型プロジェクトの一部が進行に時間を要している。
- 部品受注は好調を継続して、自動化装置が予定より減少した分をカバー。

受注高の内訳



■環境関連事業

- 全体的に概ね予定どおり。
- パネル検査サービスは、竣工前検査2件、定期検査5件を受注。
- 第2号パネル解体ラインを受注。
- リユースパネルの販売は好調を継続。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

2019年8月期 第2四半期決算概要

貸借対照表

(単位：百万円)

	2018.8末	2019.2末		2018.8末	2019.2末
資産	8,059	9,134	負債	2,273	3,167
流動資産	3,851	4,992	流動負債	2,183	3,108
現預金	900	610	支払手形・買掛金	874	1,977
受取手形・売掛金	1,820	1,689	前受金	921	836
仕掛品・製品・商品	807	2,291	その他	388	295
原材料・貯蔵品	151	154	固定負債	89	59
その他	173	248			
固定資産	4,207	4,141	純資産	5,785	5,966
建物・構築物 (純額)	2,416	2,340	資本金・資本剰余金	5,547	5,547
土地	1,548	1,548	利益剰余金	209	393
その他	243	253	その他	29	26

■大きな変動要因について

- 下期に売上計上予定の太陽電池製造装置の大型ライン案件を製造していたため「仕掛品」が増加。
- 上記に伴い材料等の仕入が先行して「支払手形・買掛金」が増加した。

■健全性について

- 有利子負債ゼロ（無借金経営）を継続。
- メインバンク2行と借入可能額20億円のコミットメントライン契約を継続。
- 自己資本比率65%、流動比率161%と健全な経営状態を堅持。

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

11

2019年8月期
全社方針

事業の強化・拡大により変化に強い企業を目指す

装置関連事業

1. 米国主要顧客との関係強化で長期かつ安定的なビジネスの獲得
2. 幅広い業界に対して自動化装置の実績を積み上げ

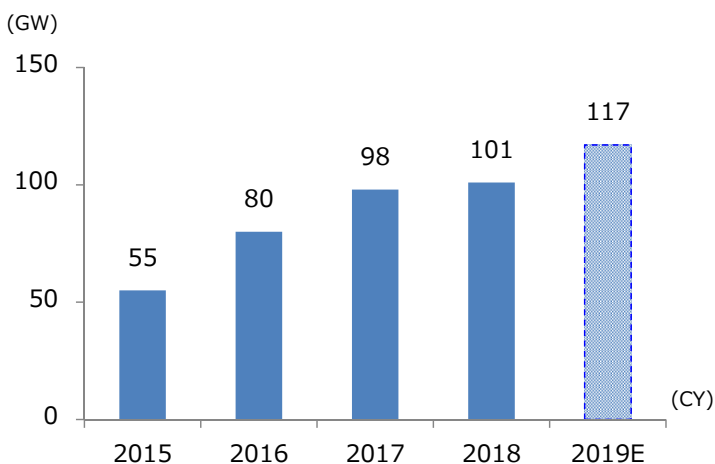
環境関連事業

1. 大規模発電所をターゲットとした使用前自主検査・定期検査の更なる積み上げ
2. 検査実績を活用した独自のサービス（遠隔監視データ分析サービス）の提供
3. PVテクノサイクルによるパネルリユース・リサイクルの強化

(出所: 2018年8月期決算説明会資料)

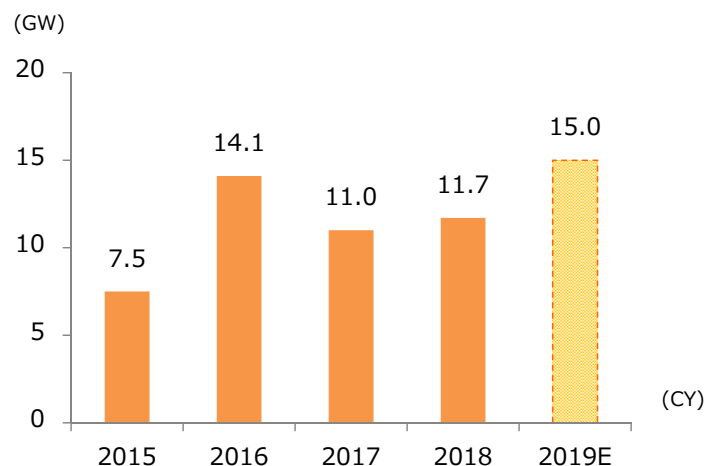
装置関連事業
太陽電池製造装置

■世界の太陽電池設置量（年間）



(出所: NPC-Prepared1904)

■米国の太陽電池設置量（年間）

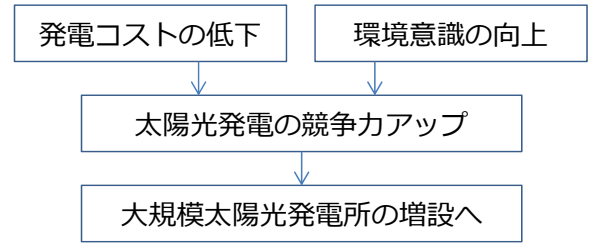
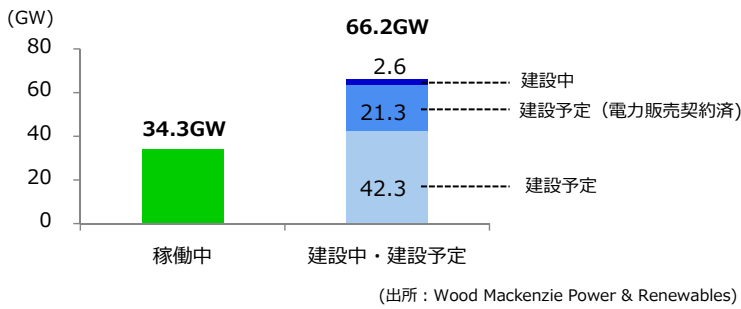


(出所: 2019 Sustainable Energy in America Factbook)

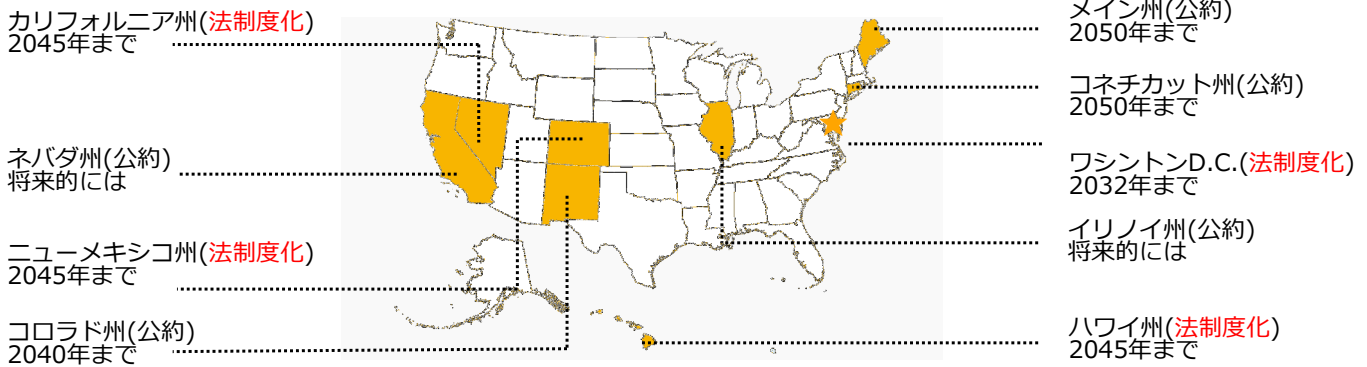
- 2018年も太陽電池市場は成長した
- 2019年以降も安定的に継続成長する見込み
- 2019年も中国・米国・インド・日本が市場を牽引
- 中国の割合は減少し、新興市場が拡大する見込み（中東、南米、欧州、東南アジア等）

- 2019年の設置量予想は前年比28%増加の15GW（投資税額控除引下げに伴う駆け込み需要の期待）
- 各種政策が堅調な成長を後押し（RPS法の普及や新築住宅への設置義務化(カリフォルニア州)）
- 大規模太陽光発電所の増設（詳細14P）
- 各州におけるRE100の法制度化と公約（詳細14P）

■ 米国大規模太陽光発電所の容量（2018年12月末時点）



■ 再生可能エネルギー100% (RE100) を掲げる州と期限



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

■ First Solar社の状況

- 2018年のパネル受注は5.6GW（2019年は2/21までで1.3GWの受注）。
- 米国（オハイオ州）、マレーシア、ベトナムで次世代パネルSERIES6の生産開始。
- SERIES6の生産は更に増強され、一方でワット当たり価格は低下する。

(出所: First Solar Q418 Earnings Call Presentation February 21, 2019)



次世代パネルSERIES6
「大型・高効率・低コスト」

■ 当社の取り組みレビュー

➤ 技術面

- 技術が評価され、SERIES6のバックエンドラインでこれまで競合他社が提供していた装置を取り込んだ。
- 技術的な仕様をクリアして現在松山工場で製造中。

➤ 製造面

- 納入済ラインは量産に向けて現地サポート中。
- 松山工場で受注済ラインを製造中（下期売上計上）。

➤ 販売・サポート面

- 下期に次期ラインを受注予定（売上は来期）。
- パネルの安定生産のため、部品注文が増加。
- 先方工場に技術者を常駐させてサポート体制を強化。



松山工場における受注済ライン向け装置製造の様子。松山工場は高稼働率で推移中。

引き続き当社の主力事業として、長期的かつ安定的なビジネスとなるよう順調に進捗中

■ 当社の強み

- ① ものづくりの一貫体制と一貫ラインの実績
- ② 松山工場の生産能力/スペース
- ③ 豊富な海外実績
- ④ 会社規模と上場企業としての信用力



土地面積：42,653㎡
延床面積：32,103㎡

■ 当社に対する引き合いの傾向/当社のターゲットニーズ

- ・ 自社の人手不足もあって、信用力がある企業にエンジニアリングごとまとめてラインで頼みたい。
- ・ 将来的には海外展開も視野に入れた製造ラインを構築したい。

大手企業向けを中心として大型案件が増えている

■ 対応業界及び大型ラインの実績

自動車業界	車載部品組立ライン
ディスプレイ業界	フィルム真空貼り合せライン
エレクトロニクス業界	組立・搬送ライン
食品・医薬品業界 他	搬送ライン他

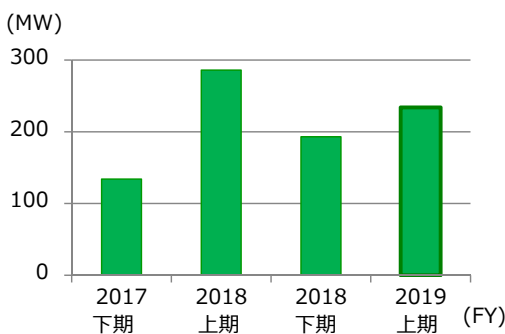


Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

16

環境関連事業 パネル検査サービス

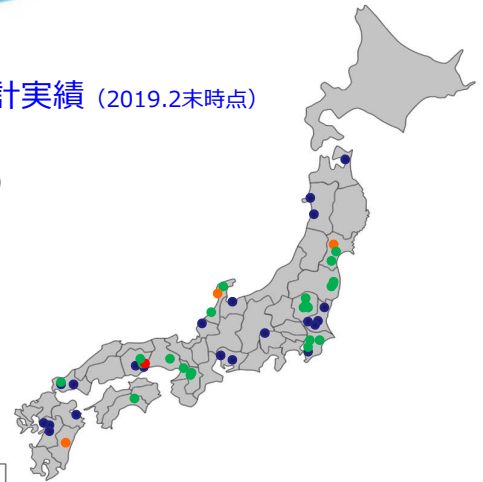
■ パネル検査サービスの実績



■ パネル検査サービスの累計実績 (2019.2末時点)

1,217MW (全国161カ所)

- 1件 ● 100MW以上
- 3件 ● 50MW~100MW未満
- 22件 ● 10MW~50MW未満
- 25件 ● 2MW~10MW未満
- 110件 ● 2MW未満



- ・ 当第2四半期も安定的に検査サービス実績を積み上げた (234MW)。
- ・ 2件の大規模太陽光発電所の使用前自主検査を予定していたが、建設遅延により下期からの検査開始となった。(1件は今期中に検査完了予定、もう1件は検査完了時期が来期まで伸びる見込み)
- ・ 空いてしまった工数を細かなスポット検査等に充当して稼働率を維持させた。

■ 当第2四半期の主な受注実績と今後の見込案件

使用前自主検査	山口県：18MW 宮城県：30MW
定期検査	岡山県：232MW (I-V検査・遠隔監視データ分析) 福島県：40MW (ドローンIR検査)

大規模発電所を中心に今後8件 (計400MW) の使用前自主検査を獲得予定

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

17

■ 定期検査（ストックビジネス）獲得への取り組み

顧客の状況

- ・ 定期検査の必要性は認識しているが、定期検査に回せる予算が限られている発電所が多い。
- ・ 中小規模の発電所では高精度だが高コストな精密検査までは求められていない。

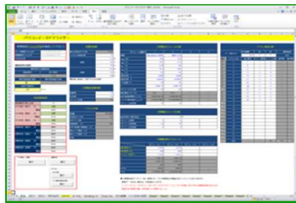
当社の対応

- ・ コストパフォーマンスに優れた簡易検査のメニューを新たに提供する。
- ・ 簡易検査で不具合を検知した場合、不具合を特定するための精密検査の提案に繋げる。

検査精度・コスト

高

簡易検査（不具合検知）



遠隔監視システム分析
（2018年10月開始）



ドローンIR検査
（2019年3月開始）



I-V検査
（従来からのメニュー）



EL検査
（従来からのメニュー）

簡易検査と精密検査の両輪で発電所の規模を問わず定期検査（ストックビジネス）を獲得していく

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

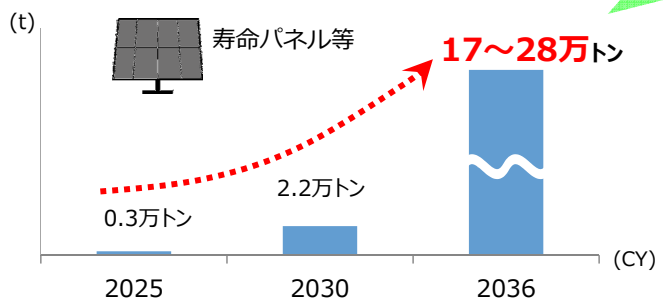
18

環境関連事業 パネルのリユース・リサイクル

■ 日本国内の排出パネルの状況

出力低下及び買取期間終了パネルの排出量予測

※災害で被災したパネルや不具合パネルは含まない
土地賃貸の場合のみ（土地を保有している場合は排出しない）



（出所：資源エネルギー庁「太陽光発電設備の廃棄対策について」2018.11.21）

西日本豪雨及び台風21号で破損した太陽光パネル
累計14,000枚を引き取り



2018年災害によりダメージを受けたパネル 写真提供:PVeYe

■ 現状の課題

- ① 排出パネルが適正に処理されていない
 - ・ まだ使用できる可能性があるパネルもリユースされずに廃棄処分（埋立処理）されている。
 - ・ 汚染防止のため「管理型」処理場で埋立処理する必要があるが、認識不足で「安定型」処分場で埋立処理されている場合がある。
- ② 廃棄処理施設におけるパネル受入の敬遠
 - ・ 中国の廃プラ輸入規制により国内の産廃処理が逼迫、処理コストも上がっている。
 - ・ パネルには有害物質が含まれているため受入拒否されるケースが増えている。

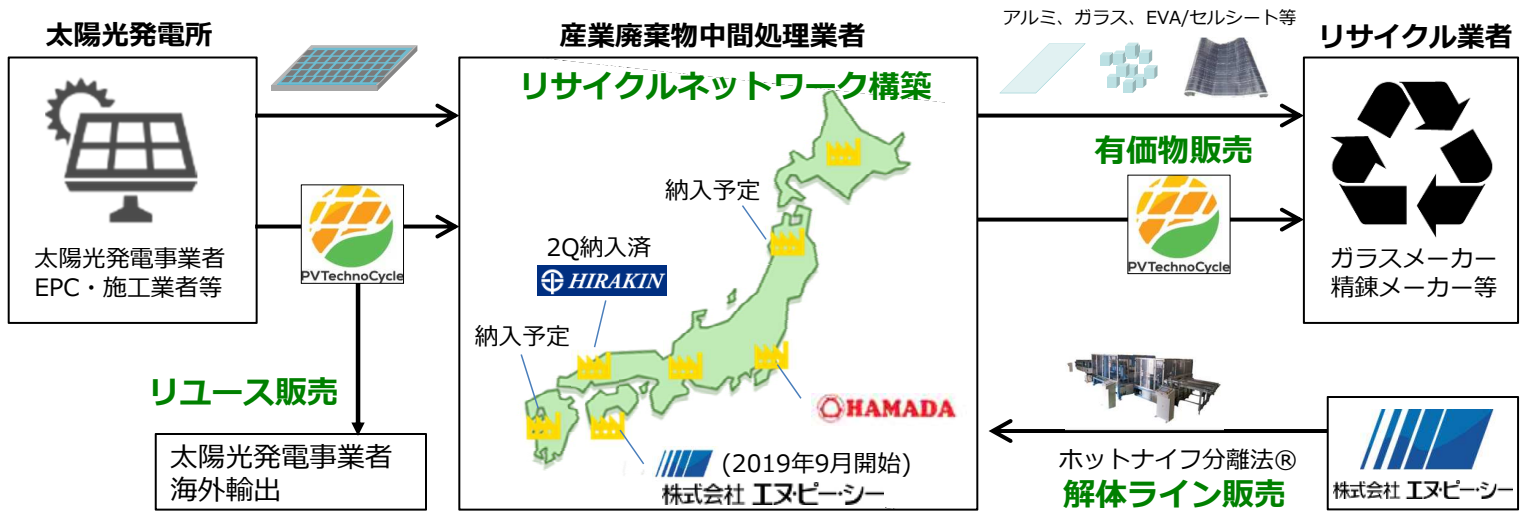
使えるパネルはリユース（再利用）し、使えないパネルはリサイクルする早急な仕組み作りが必要

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

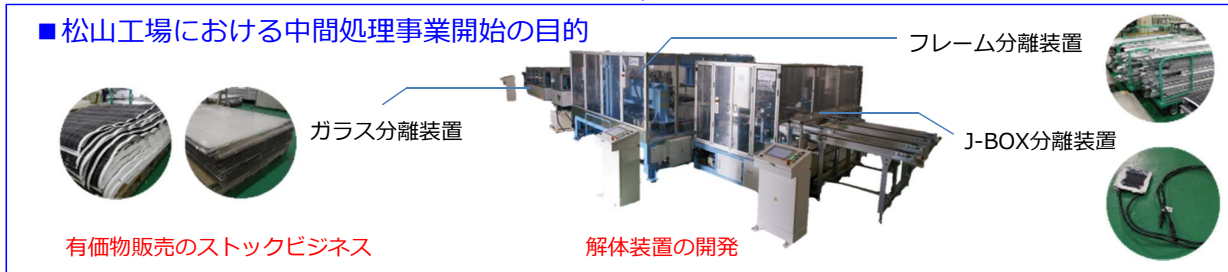
19

環境関連事業 パネルのリユース・リサイクル

■当社が構築しているリユース・リサイクルフロー



■松山工場における中間処理事業開始の目的



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

20

環境関連事業 パネルのリユース・リサイクル

■第2四半期の廃棄パネル処理実績

区分	年間目標	第2四半期実績		対年間目標 進捗率
	枚数	枚数	重量	
リユース	15,000枚	20,200枚	367トン	135%
リサイクル	3,600枚	1,198枚	22トン	752%
産廃処理		25,902枚	466トン	

■パネルリユースについて

- ・ 日本製及び日本で流通していた中古パネルに対する需要があり、海外直販の開始（販売チャンネルの拡大）
- ・ 高効率パネルへの取り換え需要の継続

■パネルリサイクルについて

- ・ 松山工場での中間処理に向けた準備（許可申請済み、2019年5月に許可取得予定）
- ・ 欧州市場（ドイツ・フランス・北欧）へパネル解体ラインを本格的に展開

欧州の状況

- ①2000年代後半～2010年代前半を中心に大量設置されているため廃棄問題が顕在化しているが、処理方法はシュレッダーのみとなっている
- ②アルミ、銀等の金属のみならずガラスやシリコンをリサイクルすることを想定している

ホットナイフ分離法が欧州市場でも非常に高い評価を得ている

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

21

太陽電池関連のみならず他の様々な業界へ事業を展開・拡大していくことから、2019年2月4日にコーポレートロゴを一新しました。



NPC incorporated

『変化や波を乗り越えながら、事業範囲を拡大させ、右肩上がり成長していく』
というメッセージを込めています。



Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

22

松山工場見学会開催のお知らせ

機関投資家・アナリスト向け 4/19(金)13:30~16:00



見どころ①

リサイクル用パネル解体装置
ガラスが割れたパネルにも対応した装置を今回初公開します。



見どころ②

ドローンによる太陽光発電所の検査サービス
その他にも当社独自の検査装置『EPTIF』のデモを実施します。



見どころ③

大型の装置も対応可能な製造棟
太陽電池製造装置、自動化・省力化装置の組立現場をお見せします。



ご興味がある方はIR担当（井関）までお問合せ下さい。 ☎03-6240-1206

Copyright © 2019 NPC Incorporated. All rights reserved.

23

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット



適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。



月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。



不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

http://www.npcgroup.net/ir/ir_mail_magazine.html



本日はありがとうございました

NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。